

職場環境要件項目		ひびきの取組み
資質の向上	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を習得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援	受験料や研修費等の一部又は全額の補助を行うことにより、職員が研修や講習を受けやすい環境を整えている。
	小規模事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度の構築。	職員の目指すキャリアに合わせた人事を行っています。
労働環境・処遇の改善	雇用管理改善のため管理者の労働・安全衛生法規、休暇・休職制度に係る研修受講等による雇用管理改善対策の充実	有給休暇取得推進を積極的に行っている。
	ICT活用による業務省力化	介護ソフトの活用による情報共有、記録の電子化による業務負担軽減を行っている。
	介護職員の腰痛対策を含む負担軽減のための介護ロボットやリフト等の介護機器等導入	電動ベッドを導入し、介護職員の腰痛対策を行っている。
	子育てとの両立を目指す者のための育児休業制度等の充実、事業所内保育施設の充実	仕事と子育て両立の一環として、就業時間の短縮や出勤日数の調整を行っている。

	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化、個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	定期的なミーティングを開き情報共有を徹底している。
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成による責任の所在の明確化	事故防止対策マニュアルの作成を実施。
	健康診断・こころの健康等の健康管理面の強化、職員休憩室・分煙スペース等の整備	年次健康診断の実施。
その他	障害福祉サービス情報公表制度の活用による経営・人材育成理念の見える化	ミーティング等で理念の周知を実施。
	中途採用者に特化した人事制度の確立。	多様な年代層の職員でも働きやすいようにシフトの配慮を行っている。
	非正規職員から正規職員への転換	非正規職員から正規職員への転換を実施している。
	職員の増員による業務負担の軽減	積極的に職員を採用し、一人一人の業務を分散させ負担を軽減している。